

三重県国民健康保険団体連合会

令和6年 第2回通常総会議事録

1. 開催日時

令和6年7月29日（月）午後1時～午後1時55分

2. 開催場所

三重地方自治労働文化センター 4階 大会議室

3. 総会の議事の経過及びその結果

(1) 鈴木理事長から開会挨拶があった。

- 保険者の皆様方には、通常総会にご出席いただきお礼申し上げます。
- 国においては、経済・財政・社会保障の持続可能性の確保を図るため、本年6月に骨太の方針が閣議決定された。
- 骨太の方針では、全世代型社会保障の構築に向けて医療・介護保険制度の改革に取り組むとともに、質の高い効率的な医療提供体制を整備していくため、医療・介護DXを着実に推進し、全国医療情報プラットフォームの構築、パーソナルヘルスレコードの普及などを進めていくこととされている。
- 国民健康保険制度に関しては、都道府県のガバナンス強化を図るため、生活保護受給者の国保及び後期高齢者医療制度への加入等について検討を進めるとともに、被用者保険の更なる適用拡大を行うこと等が盛り込まれている。
- この点については、先ほど開催した理事会においても、生活保護制度と国民健康保険制度がなじまないことであったり、子ども・子育て支援金の徴収の課題に関してしっかりと注視して関係機関に声をあげていくべきであるとの議論があった。

(2) 三重県議会の石田医療保健こども福祉病院常任委員長から来賓挨拶があった。

- 通常総会が開催されることを心からお祝い申し上げます。
- 社会保障制度はしっかりしすぎると県民や国民は甘えてしまうのではないかと心配される。市町等保険者の皆様は、まずは予防医療、介護予防をしっかりとしていた

だき、やむを得ないときの医療機関であってほしい。

- 引き続き国民健康保険の会計が健全で持続可能な安定したものとなるよう皆様のご尽力に期待申し上げる。
- (3) 事務局から、会員総数である 34 名中 30 名が出席しており、総会の成立要件を満たしていることを報告した。
- (4) 議長選出について、事務局からの指名に対し、全員異議なしとのことであったため、南伊勢町長 上村 久仁氏を指名し議長に選出された。
- (5) 議事録署名者には、明和町長の下村 由美子氏及び大紀町長の服部 吉人氏が選任された。
- (6) 加藤常務理事から国保連合会を取り巻く諸情勢として以下の報告があった。
- 通常国会において改正子ども・子育て支援法が成立し、また、骨太の方針 2024 が閣議決定され、今後の本会の運営に大きな影響を与えることが想定される政策が進められようとしている。
 - 少子化対策に関しては、子育て支援金制度が導入されることとなった。
 - 全世代型社会保障制度の構築に関しては、都道府県のガバナンスの強化を図るとされており、後期高齢者医療のあり方を検討することに併せて生活保護受給者の国保・後期高齢者医療制度への加入について検討を深めることが記載されている。
 - 医療・介護保険等の改革に関しては、国保制度における保険料水準統一を徹底すること、普通調整交付金、保険者努力支援制度など国保制度への財政支援のあり方について検討するとされている。
 - 介護保険利用者 2 割負担については、第 10 期介護保険事業計画の開始(2027 年度)までに検討を行うこととされている。
 - 子育て支援金、被用者保険の適用拡大については、国保運営に深刻な影響を及ぼすことが懸念されている。
 - 令和 8 年度からは、医療保険者が医療保険料や介護保険料と合わせて子ども子育て

て支援納付金を徴収することとされている。

- 県内においては、多くの自治体で国保料等の引き上げが予定されている中で、子ども子育て支援金が上乗せ徴収されることで、保険料の収納率に影響を及ぼすことが懸念される。
- 国保被保険者数は平成 20 年度（後期高齢者医療制度開始）以降、大きく減少しているが、被用者保険の適用拡大により、国保の被保険者数はさらに減少することが想定される。
- 財政制度審議会建議では、普通調整交付金の配分の見直し、生活保護受給者の国保等への加入について議論を加速させるべきと書き込まれている。
- 国がこうした施策を推し進めることで、国民健康保険制度の運営はさらに厳しい状況に追い込まれることが懸念される。
- 医療 DX の推進に関する工程表では、マイナンバーカードと健康保険証の一体化を加速させること、全国医療情報プラットフォームを構築することとしている。
- 国保総合システムのクラウド化、システム開発・更改に莫大な経費が必要となることから、積立てを計画的に行うなど、財政運営上の課題への対応も重要となる。
- 自治体システムの標準化の取り組みにおいては、子ども医療費をはじめとする地方単独医療費助成について、全国的な運用をはかるよう準備が進められており、本会としては新たな仕組みの導入に向けた対応が必要となると考えている。
- 令和 6 年度税制改正により、国保連合会業務のうち、一定の要件に該当するものは非課税となり、積み立て資産に関しても厚生労働省への積み立て計画の提出を条件として必要額を積み立てることができるよう改正される。
- この措置に伴い本会においても規則改正等の対応が必要となる。内容が明らかになり次第必要な対応について協議させていただきたい。
- 中長期的な視点をもって、今後予想される困難な課題に的確に対応しながらしっかりと運営を行っていききたい。

<西田紀宝町長>

紀宝町は県境に位置していることもあり、県を越えて医療機関を受診した場合、窓口負担のない福祉医療費の現物給付が難しい状況であった。そのため、国に対して現物給付の取り扱いを全国統一的にするよう要望をして欲しいと、国保連合会にお願いしてきた。そして、先ほど説明のあったように国保連合会にご尽力いただき、今後は現物給付に対応できるようシステム改修していただくことになった。これまでの努力に対して感謝する。今後できるだけ早く実施できるようお願いしたい。

<加藤常務理事>

子ども医療費等の現物給付の全国決済が可能となるよう国保中央会と協力して厚生労働省などと協議を進めている。状況についてはその都度ご報告させていただくこととする。

(13時10分に尾鷲市出席)

(7) 議案及びその審議状況は次のとおりであった。

【 報告事項 】

報告第16号 三重県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計経理規則の一部を改正する規則について

報告第17号 三重県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計経理規則の一部を改正する規則について

報告第18号 三重県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払規則の一部を改正する規則について

報告第19号 三重県国民健康保険団体連合会福祉医療費審査支払規則の一部を改正する規則について

報告第20号 三重県国民健康保険団体連合会国民健康保険保険者事務電算化共同処理業務規則の一部を改正する規則について

報告第21号 三重県国民健康保険団体連合会退職者医療共同事業拠出金規則を廃

止する規則の制定について

報告第22号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出予算補正の専決処分について

3. 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定

報告第23号 令和6年度三重県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算補正の専決処分について

<審議状況>

報告第16号から報告第23号について、植村事務局長から報告があり全員異議なく了承された。

(13時35分に紀宝町は途中退席、報告事項の協議には不参加)

【 議決事項：令和5年度事業報告と各会計決算及び財産目録 】

議案第11号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会事業報告について

議案第12号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出決算について

議案第13号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計歳入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 国民健康保険診療報酬支払勘定
3. 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定
4. 出産育児一時金等に関する支払勘定
5. 抗体検査等費用に関する支払勘定

議案第14号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出決算について

1. 業務勘定

2. 後期高齢者医療診療報酬支払勘定
3. 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定

議案第15号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 介護給付費等支払勘定
3. 公費負担医療等に関する報酬等支払勘定

議案第16号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計歳入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 障害介護給付費支払勘定
3. 障害児給付費支払勘定

議案第17号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計歳入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 特定健診・特定保健指導等費用支払勘定
3. 後期高齢者健診等費用支払勘定

議案第18号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会第三者行為損害賠償求償事務特別会計歳入歳出決算について

議案第19号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会福祉医療費助成事務特別会計歳入歳出決算について

1. 業務勘定
2. 支払勘定

議案第20号 令和5年度三重県国民健康保険団体連合会財産目録について

< 審議状況 >

議案第 11 号から議案第 20 号について、加藤常務理事から提案説明後、監事を代表し、酒谷監事から 7 月 1 日に行われた会計監査の監査結果報告が行われた。

特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

【議決事項：令和 6 年度債務負担行為及び予算補正】

議案第 21 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算補正について

議案第 22 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第 23 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第 24 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第 25 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第 26 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第 27 号 令和 6 年度三重県国民健康保険団体連合会福祉医療費助成事務特別会計歳入歳出予算補正について

1. 業務勘定

議案第28号 令和6年度三重県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計債務負担行為予算補正について

1. 業務勘定

<審議状況>

議案第21号から議案第28号について、加藤常務理事から一括して提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

(8) 辻村副理事長から閉会挨拶があった。

- 全ての案件について原案のとおり承認いただき、厚くお礼申し上げる。
- 保険者からの期待と信頼に応え、めまぐるしく変わる医療保険制度に柔軟に対応できる国保連合会の実現を目指し、事業の円滑な運営と健全かつ透明性のある財政運営の確保に取り組む所存であるため、皆様方のご理解とご支援をお願いする。

4. 出席者の氏名

(1) 会員

別紙のとおり

5. 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

植村 郁矢（三重県国民健康保険団体連合会事務局長）

(敬称略)

別紙

保険者名	職氏名	保険者名	職氏名
三重県	副知事 服部 浩	東員町	保険年金課長 日下部 聡
津市	健康福祉部健康医療担当理事 勢力 実	川越町	町長 城田 政幸
四日市市	健康福祉部長 市川 和彦	多気町	町長 久保 行央
伊勢市	市長 鈴木 健一	明和町	町長 下村 由美子
松阪市	健康福祉部保険健康担当理事 大西 学	大台町	副町長 西尾 真由子
桑名市	市長 伊藤 徳宇	玉城町	町長 辻村 修一
鈴鹿市	参事兼保険年金課長 高崎 知奈美	御浜町	住民課長 田嶋 一成
名張市	市民部長 中野 雅夫	紀宝町	町長 西田 健
尾鷲市	市民サービス課長 湯浅 大紀	大紀町	町長 服部 吉人
亀山市	副市長 山本 伸治	南伊勢町	町長 上村 久仁
鳥羽市	市民課長 中井 錬治	紀北町	町長 尾上 壽一
熊野市	市民保険課長 森下 みほ子	医師国保	事務長 磯田 晋一
いなべ市	保険年金課長 木村 和人	歯科医師国保	理事長 中井 孝佳
志摩市	保険年金課長 山口 誠	薬剤師国保	理事長 杉本 守之
伊賀市	保険年金課長 藤島 月美	建設国保	事務局長 水谷 慎二
木曽岬町	町長 加藤 隆		

この議事録が正確であることを証するため、署名押印する。

議 長

印

署 名 者

印

印

